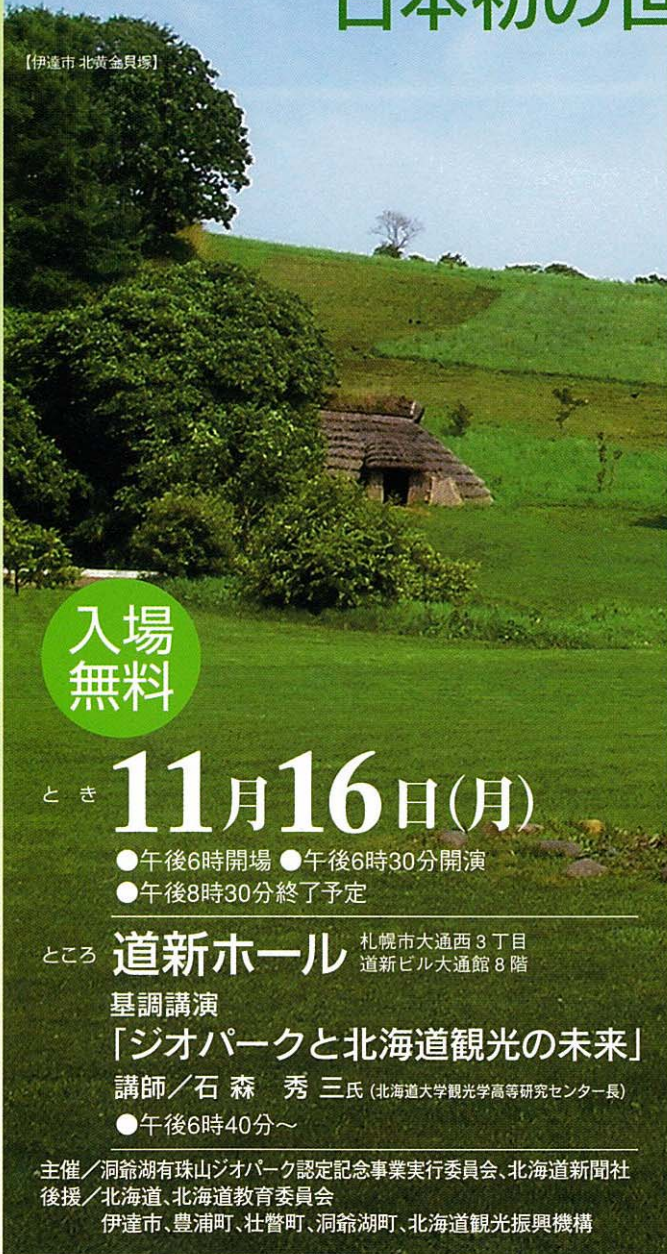


日本初の世界ジオパークに。

【伊達市北黄金貝塚】



入場
無料

と き **11月16日(月)**

●午後6時開場 ●午後6時30分開演
●午後8時30分終了予定

と ころ **道新ホール** 札幌市大通西3丁目
道新ビル大通館8階

基調講演

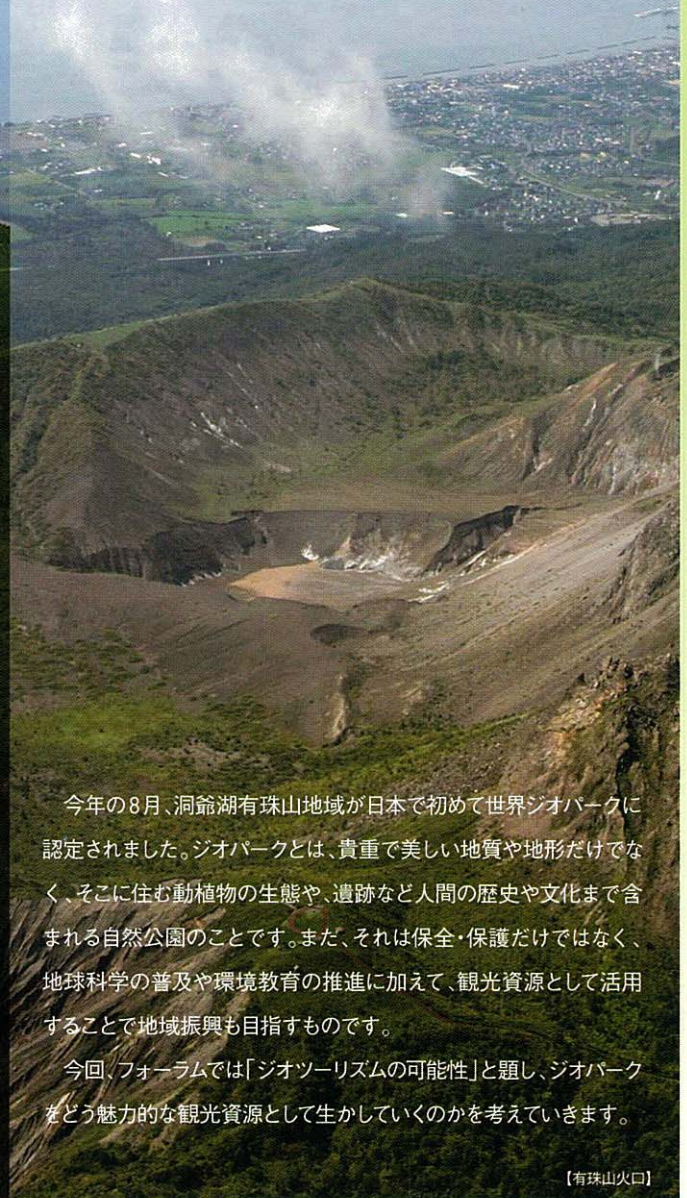
「ジオパークと北海道観光の未来」

講師/石森 秀三氏 (北海道大学観光学高等研究センター長)

●午後6時40分～

主催/洞爺湖有珠山ジオパーク認定記念事業実行委員会、北海道新聞社
後援/北海道、北海道教育委員会
伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町、北海道観光振興機構

洞爺湖有珠山ジオパーク



今年の8月、洞爺湖有珠山地域が日本で初めて世界ジオパークに認定されました。ジオパークとは、貴重で美しい地質や地形だけでなく、そこに住む動植物の生態や、遺跡など人間の歴史や文化まで含まれる自然公園のことです。また、それは保全・保護だけではなく、地球科学の普及や環境教育の推進に加えて、観光資源として活用することで地域振興も目指すものです。

今回、フォーラムでは「ジオツーリズムの可能性」と題し、ジオパークをどう魅力的な観光資源として生かしていくのかを考えていきます。

【有珠山火口】

パネルディスカッション

コーディネーター 斉藤 紳一 (北海道新聞室蘭支社報道部長)



石森 秀三氏 (北海道大学観光学高等研究センター長)

1945年神戸市生まれ。甲南大学卒業。ニュージーランド・オークランド大学大学院に留学後、京都大学人文科学研究所研究員、国立民族学博物館教授および研究部長などを経て、2006年に北海道大学観光学高等研究センター長に就任。北海道大学大学院観光創造専攻長も兼任。



岡田 弘氏 (北海道大学名誉教授)

1943年長野市生まれ。北海道大学大学院修了。地震学が専門だったが、1977年の有珠山噴火から火山学に変更。有珠山麓の有珠山火砕物観測所などでの研究が2000年有珠山噴火の予知と滅災につながった。NPO環境防災総合政策研究機構北海道・理事、壮瞥町防災学識アドバイザー、旭川市科学博物館名誉館長も兼任。



大島 直行氏 (伊達市噴火湾文化研究所長)

1950年釧路管内標茶町生まれ。東洋大学を卒業。95年から伊達市職員として北黄金貝塚の整備、調査に携わる。2005年から伊達市噴火湾文化研究所の所長に就任。日本考古学協会理事のほか、日本人類学会評議員、北海道アイヌ民族文化研究センター運営協議会委員、北海道文化財保護協会理事などを兼任。医学博士。



若狭 幸司氏 (ワカサリゾート株式会社常務取締役)

1953年虻田町 (現洞爺湖町) 生まれ。76年早稲田大政治経済学部卒業後、旅行会社、出版社の勤務を経て、85年にわかさいも本舗入社。96年から常務取締役に就任。2002年にわかさいも本舗グループのワカサリゾートに常務取締役として入社。今年6月からさうべつ観光協会副会長に就任。

●応募方法

参加ご希望の方は、はがきかFAXで、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をご記入の上、11月9日必着で下記あて先までお送りください。道新ホームページ・携帯サイトのイベント欄からも申し込みできます。聴講券をお送りします。定員700人
※応募多数の場合は、抽選の上聴講券を発送いたします。

●応募先

- 〒051-0016 室蘭市幸町5-6 北海道新聞室蘭支社「ジオパークフォーラム」係まで。
- FAX TEL.0143-22-6622
- 道新ホームページ⇒「くらし」⇒「イベント情報」⇒「セミナーお申し込み」⇒「ジオパークフォーラム」申し込みボタンまで
<http://event.hokkaido-np.co.jp/>
- 携帯サイト「道新&道スポ」のセミナー申し込み一覧 (<http://jyoho.hokkaido-np.co.jp/s/>) まで

